

# 親子支援だより

## ほっと通信 5月号 No.2

平成30年5月1日(月) 浜松学院大学付属幼稚園

【教頭】山梨明子・著発行 【心の相談員】中島祐子・添文

毎日、家事・育児・お仕事頑張るお母さん・お父さんが、このおたよりを読みながら・・・

①ほっとひと息ついて ②ホッと安心し ③ホット(HOT)な温かく優しい気分に包まれますように・・・  
いつでも応援しています！共に歩みましょうね！

さて、5月号からは皆さんから頂いた数々の「ほっと通信の感想」を順次紹介しながら、発信していきたいと思ひます。今回は子育てのパートナー『お父さん』がテーマです！頂いた感想は右下矢印部分です。まずはここをお読みください。…いかがでしょうか。きっとこの内容に共感した方がたくさんいらっしゃるのでは？『家族のかたち』は各ご家庭で様々ですが、『お父さんは頼もしい存在であってほしい』と願っている方が大多数でしょう。…例えば、お父さんは家で子どもとダイナミックに遊んでくれる、物事の良し悪しを毅然と伝えてくれる、子どもの興味関心を広げてくれる、時々家事も手伝ってくれる、子育ての価値観が一致している…等。理想は次々とあがりますよね。もちろんこれはお父さん側から見た時と同じで、お母さんに期待する事柄も色々あるでしょう。それらが『現状満足』や『折り合いをつけている最中』など…。現状は様々でしょうね。

ちなみに我が家の『お父さん』にまつわるエピソードと言えば…長女が1歳半頃、基本的な生活習慣が身に付き始めていた矢先の出来事。いつもなら手を洗ったらきちんとタオルで拭いていた娘が、ある時から突然自分や私の洋服でぬれた手を拭き始めたのです。「ちゃんとタオルがあるのになぜ？」と疑問に思っていたある日…。その原因を目撃してしまいました。なんと主人が手洗いを終えた娘に「はい。お父ちゃんの服で拭いていいよ。」と自らTシャツを差し出していたのです…。

この瞬間私は悟りました。『子育ては自分の思い通りにはいかない。夫婦間でさえ一致していないのだから紆余曲折して当たり前。あとは娘が成長して何を選択する子になるかが大事…』とね(笑)。その時は正直「やれやれ」と思いましたが、主人に異を唱えることなく、どんな形であれ娘の世話をしてくれることに「ありがとね」と言うことにしていました(笑)

これは些細な出来事でしたが(そんなレベルのすれ違いや不満はたくさんありましたよ～)、その後も娘たちと一緒にスポーツを楽しんだりしてくれた主人なので、それらを通して子育てや学校社会について色々な話をしてきました。世の中、完璧な親なんていません。私たち夫婦なんて欠陥だらけですし、互いに子どもへの愛情をどんな形で表出できるかは、その時々状況でうまくかみ合わないこともありました。でも、お父さんが仕事で苦勞続きの時、お母さんが子どもの夜泣きに疲労困憊している時…。「大丈夫？大変だね」と互いが相手を気遣う言葉がけや共感があるだけで気分が変わりますよね。そんなお母さんの心の状態が子どもへの関りに大きく反映されるので、やっぱり思いやりの一言は大事にしたいですね！…ということで、今月号からは、可能な限りお父さんなど育児に携わる皆さんにこの通信を読んで頂き、育児の苦樂を共にしていきましょう！通信の感想やご意見は通年募集中です！(メモ等で結構です)お父さんからのご意見も歓迎ですよ～ 山梨明子

### 5月カウンセリング予定

★5月 10日(木)空きなし  
★5月 17日(木)空きなし  
★5月 24日(木)空きなし  
★5月 31日(木)13:00～予約可能  
※カウンセリングは50分間です

### 6月カウンセリング予定

★6月7日(木)11:00～、13:00～  
★6月14日(木)10:00～、11:00～  
13:00～予約可能  
★6月21日(木)10:00～  
11:00～、13:00～  
予約可能

こんにちは！新年度スタートの月、本当にご苦勞さまでした。お疲れは大丈夫ですか？大型連休の前に、・いまこ・が愛おしくなるような素敵な詩と出会い、ご紹介いたします。

### 『最後のとき』(海外、作者不詳)

赤ちゃんをその腕に抱いた瞬間から あなたはこれまでとは全く違う人生を生きる  
以前の自分に戻りたいと思うかもしれない 自由と時間があって 心配することなど何もなかったあの頃の自分に  
今まで経験したことがないほどの徒勞感 毎日毎日まったく同じ日々 ミルクを与えて背中をさすってやり  
おむつを替えては泣かれて ぐずられて嫌がられて 屋敷をしすぎてもしなくても心配で  
終わることのない永遠の繰り返しの思えるかもしれない  
だけど忘れないで……すべてのことには、「最後のとき」があるということを ご飯を食べさせてやるのはこれが最後、  
というときがやってくる 長い一日のあと子どもがあなたの膝で寝てしまう だけど眠っている子どもを抱くのはこれが最後  
子どもを抱っこ紐で抱えて出かける だけど抱っこ紐を使うのはこれが最後 夜はお風呂で髪を洗ってやる  
だけど明日からはもう一人できると言われる 道を渡るときには手を握ってくる だけど手をつなぐのはこれが最後  
夜中こっそり寝室にやってきてベッドにもぐりこんでくる だけどそんなふうを起こされるのはこれが最後  
屋下がりに歌いながら手遊びをする だけどその歌を歌ってやるのはこれが最後  
学校まで送っていけば行ってきますのキスをしてくる だけど次の日からは一人でだいじょうぶと言われる  
寝る前に本を読み聞かせて 汚れた顔をふいてやるのもこれが最後 子どもが両手を広げて  
あなたの胸に飛び込んでくるのもこれが最後 だけど「これが最後」ということはあなたには分からない  
それがもう二度と起こらないのだと気付くころには すでに時は流れてしまっている  
だから今、あなたの人生のこの瞬間にも たくさんの「最後」があることを忘れないで  
もう二度とないのだと気付いてはじめて あと一日でいいから、あと一度きりでいいから、と切望するような  
大切な「最後のとき」があることを

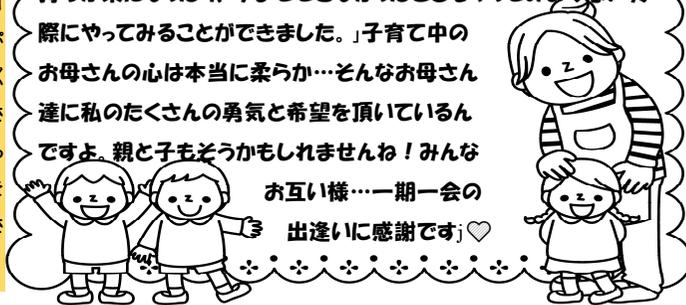
心の相談員：中島祐子

### お寄せ頂いた「感想」より…(全文を要約した抜粋文です)

「通信を読んで心がほっかり安心感が生まれました。また、この通信はお母さんの育児苦勞に焦点が当てられていますが、是非お父さん達にもこれを読んでもらいたいです。通信を通してお母さん達の大変さを共有し、支えてもらえたらいいなと思うのです。乳幼児期の子育ては母親が主体で負担も大きいので、お父さんには良きパートナーとしてお母さんを支えてもらったら、お母さんも安心して楽しく子育てができるのではないかと思います。一人で悩んでいるお母さんがお父さんに相談すると、時折的外れな返答が…ということもあるでしょうが(笑)まずは、子育てにかかわる全ての人にこの通信を読んでほしいなと思います。それに、こんなに素敵な通信をお母さん達だけにとどめておくのはもったいないと感じたものですから…！」

### 今月のほっとアドバイス

お心のごもった感想を頂き感謝でいっぱいです。「自分を責めすぎたり、もっと自分に正直にしていいたと気づかせてくれて気持ち楽になったり、今までできなかったことをやってみよう思い実際にやってみることができました。」子育て中の  
お母さんの心は本当に柔らかい…そんなお母さん達に私のたくさんの勇気と希望を頂いているんですよ。親と子どもどうかもしれませんね！みんな  
お互い様…一期一会の出逢いに感謝です！



◎カウンセリングは守秘義務を厳守します。また、カウンセリングの対象は付属幼稚園の保護者となります。予約の際は、在園保護者を優先しますが、空き状況により、未就園児活動に参加している保護者(当園に入園予定の方)と、当園卒園の保護者(卒園から1年以内に限る)を対象に、予約をお受けすることができます。また、未就園児のお子さんを連れてカウンセリングをする場合、託児を依頼することも可能ですのでご相談ください。(1回1,000円の実費)

◎カウンセリングの予約は、幼稚園に電話(☎72-5193)をし、希望の日時をお知らせください。その場で空き状況をお伝えして日時を決定します。(幼稚園の会議室で実施します)カウンセリングは無料です。

◎カウンセリング開始時間までは幼稚園職員室西側の廊下の待合椅子でお待ちください。